

再質問

資格要件について、農業
会議所へは確認の電話を入
れたのか。

資格要件については、総会
の中で議論していく。

再々質問

再答弁(農業委員会事務局長)
職員が電話をしている。

事実認定に誤りがあるよ
うなので、今後気をつけて
いたいただきたい。

絹西小の児童増加に伴う問題について

坂巻 文夫 議員

質問

①きぬの里における出生
および流入児童数の増加を
踏まえ、過去5年、今後5
年程度の積算を伺う。

②グラウンド不足に関し、
現在計画している校舎は面
積に影響を与えることはな
いようだが、この建設のみ
で教室不足が将来的に解消
されるのか。また、市内の
ほかの学校のグラウンドの
平均的な面積はどのくらい
か。また、児童1人あたり
の面積はどの程度か。現在
の校舎の改築をどうすべき
か、執行部の見解を伺う。

③学童クラブの現状は定
員いっぱい100名と聞い
ている。どのような方策で、
増加する児童を受け入れて
いくのか、また、きぬの里
の登録児童数も伺う。

答弁(教育部長)

①1年生から6年生まで
の合計数で、H20年度30

4人、H21年度330人、
H22年度350人、H23年
度378人、今年度392
人となっており、5年後は
495人と考えられる。さ
らにこの状態が続けば、数
年後には600人近くまで
増加が予想される。校舎の
改築については、時期を見
据えて考えていく。

②グラウンド面積に関し
ては、現時点では基準を満
たしている。教室不足対策
として児童数を推測し、当
面増築工事を予定している。
グラウンド面積は、1人あ
たりの面積が大きいのは五
箇小で133平方メートル、
一番小さいのが絹西小の12
平方メートルである。今後
整備計画を図っていきたい。

③学童クラブに関しては、
絹西小の全体の問題として
グラウンドの整備拡張、校
舎建設を含め、総合的に検
討していく。

再質問

中期的に校舎の改築を要
望する。グラウンドについ
ては至急、対応願いたい。

また、内守谷と坂手の登録
児童数を伺いたい。

再答弁(教育部長)

グラウンド拡張と校舎改
築については人口動態を見
据え、適正な時期に行つて
いきたい。

児童クラブの児童数は坂
手が40人、内守谷が86人
である。

再々質問

学校の改築に関しては、
補助金にかかわらず、検討

電気料金の値上げについて

石川 栄子 議員

質問

今現在稼働している原発
はゼロとなった。だから電
力会社は火力発電燃料料金の
増加、高騰を理由にして一
方的な値上げ通告をした。

実際には、原発事故対策費
用、賠償など巨額の費用を
必要とする東電を救済する
原子力損害賠償支援機構の
負担金などを含めた『総括
原価法』によって決めら
れている。そこで、市役所
全体の電気料金値上げ分は、
どのくらいになるか伺う。

いたいただきたい。グラウンド
拡張については、早い時期
の拡張を要望する。



絹西小学校

値上げになった分は、市民
のための施策として使えな
くなる。重要なことであり、
市民生活にもものすごく影響
があると考える。値上げを
そっくり認めるかについて
伺う。また、電気料金の値
上げが市民生活に与える影
響についてどう見るか、企
業や法人も値上げになるし、
さらに個人住宅での値上げ
が与える影響、これをどう
見るか伺う。

答弁(企画部長)

現在、市が東電と契約し

再質問

再答弁(産業労働部長)

電気料金的大幅な値上げ
は、企業等にとつては大き
な打撃であり、収益悪化を
抑えるため、商品等の価格
を引き上げざるを得ず、経
営環境はさらに悪化すると
考える。個人消費者にとつ
ては、消費が停滞し、国民
生活と経済情勢の悪化が予
想される。

再質問

坂東市長が賠償請求分と
して払ってもらえない分を
電気料金から差し引くと怒
っているというが、市民を
守る立場で市長として何か
あれば聞きたい。私たち議
員も値上げを認可しない意
見書などを上げていければ

